

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議(第7回)				
開催日時	平成22年2月22日(月)午後7時00分～9時				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>出席者: (委員)神谷・桑原・島崎・土田・當間・橋本・吉井・吉満 敬称略</p> <p>(市事務局)社会教育課長 神山・生涯学習係長 半井・生涯学習係主 事 野崎</p> <p>欠席者:(委員)小山・森 敬称略</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 報告事項 (1) 社会教育委員研修: 地域教育フォーラム2010について</p> <p>3. 協議事項 (1) 今期研究テーマについて</p> <p>4. その他 (1) 第9回会議日程について (2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会(以下、都市社連協という)第2回理事会について</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係 担当者名 半井・野崎 電話番号 042-393-5111(内線3513) ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1. あいさつ 議長 これまで、当市の現状について行政経営課長および各社会教育所管課長より説明をいただいたが、社会教育委員自ら足を運び、地域で行われている社会教育関連活動の現状を調査することが必要である。今回は、各委員が把握している現状についてご意見をいただき、それを踏まえて調査する項目を考えていきたい。</p> <p>神山課長 先週までに、青少年健全育成事業の「市民の集い」(2/7)、「多摩六都ヤングライブフェスティバル」(2/14)が無事に終了した。来る3月13日(土)市民スポーツセンターにおいて「スーパードッジボール大会」が開催される。多くの小学生がチームを組んで参加する予定。お時間のある方はぜひお越しいただきたい。</p>					

2. 報告事項

(1) 社会教育委員研修：地域教育フォーラム2010について

A委員

「地域・企業と学校が連携し、子供たちの『実社会・実生活に生きる力』を育もう!」というテーマで開催された。第1部では教育支援プログラムの事例として、「ジョブシャドウ」や「理科コンテンツ」を開発する若手企業家取組、高校生と企業CSRチームの連携が紹介された。第2部では「地域教育が切り拓く子供たちの未来」というテーマでNPO法人理事長、企業の市民活動担当者、東京都教育庁地域支援部長によるパネルディスカッションが行われた。

3. 協議事項

(1) 今期研究テーマについて

議長

地域で行われている社会教育関連活動の現状について調査する項目を考えていきたい。また、第4次総合計画に反映すべき意見があれば本会議で集約して提言したいと思う。社会教育の視点を踏まえたうえでご意見があれば伺いたい。

A委員

スポーツ行事の場合、1つの事業を実施するだけでも体育協会の協力が不可欠であるため、横のつながりを大切にしていかなければならないと思う。しかし、協会のメンバーが長年変わらず、マンネリ化が心配されている。今後、若い世代との連携、協力も必要になってくると思うが、現状として、組織としてではなく、個々が別々に動いており、連携が進んでいないように思われる。

B委員

若い世代がどうしたら地域の組織に入り込めるか提言していくことが必要ではないか。特に地域と学校の連携を強めるためには、教員にも業務に支障のない範囲で事業の運営に関わっていただいたほうがよいと思う。

議長

高齢化の問題はあらゆる方面でささやかれているようである。自治会組織の現状はどうなっているか。

C委員

本市には300を超える自治会があり、市全体の加入率は約56%である。毎年、特に若い世代の加入率が減り続けている状況である。加入率の高い、ある自治会では、PTA連合協議会と連携をとりながら子どもが喜ぶイベントを展開している。運動会や夕涼み大会などが子どもたちに喜ばれている。このように若い世代をとりこむための努力が必要である。

A委員

市で毎年実施されている市民大運動会に、若い世代が家族ぐるみで参加しているのが見受けられる。このように若い方が解け込めやすくなるよう地域で受け皿を作っていくことも必要である。

議長

近年、地元の企業が祭りなどのイベントを実施し、地域の人々が集まってコミュニティが形成されている例もある。地域が企業と交流するよう努力することも必要だと思う。

B委員

最近、地域で行われているもちつき大会などの行事に、父親の参加が目立つようになった。このように父親の出番を引っ張り出せるような方法も提言できればと思う。

副議長

最近、PTA役員の成り手が減り、各学校とも役員決めに苦労している実態の中、父親が役員を引き受けるケースが目立っている。役員全体でも父親が占める割合が多くなっており、組織に対する発想の転換が必要不可欠である。

議長

若い世代が自治会やPTAなどの組織に加入することのメリットは、他にどのようなものがあるか

C委員

自治会活動は、災害から地域を守る役割も担っている。過去に国内で大地震が発生した時、自治会組織で近所の救助活動を行っていた光景が度々取り上げられ、人と人とのつながりの大切さを多くの人が認識しただろう。そのような活動についてイベント等を通じてPRしたら、関心を持って加わる人が増えるのではないか。

D委員

組織に加入するメリットや魅力がまだまだ十分に伝わっていないと思う。あらゆる方面で高齢化がささやかれているが、一定の期間を定めて人員の交代を行わないと、世代交代も進まないと思う。

E委員

共働き家庭が増加するなどして社会状況が変化したこと、また価値観が多様化したことにより、魅力を感じないものには関わらないといった風潮が強まってきていると思う。組織も前例踏襲主義から脱却していないのが現状ではないか。

F委員

「自分さえよければいい」という風潮が強まり、地域を愛している人が減りつつあるのではないか。地域で清掃活動を行っても道路が汚されるといった事例も見受けられる。地域愛を育むべきである。

議長

人と人とのつながりが希薄になりつつある現状が伺える。自治会やPTAなどの組織の役割を見直す必要があるだろう。地域の財産を活用すること、そして地域の核になるものを見出すことも重要である。

本日、各委員より出された意見から、いくつかキーワードが出てきた。それを調査する項目に反映させたい。調査から得られたデータを基に社会教育の方策を示していければと思う。

4．その他

(1) 第9回会議日程について

第9回会議 平成22年4月22日(木)午後7時～ 教育委員会室
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

(2) 都市社連協第2回理事会について

平成22年3月19日(金)午後3時から 議長、事務局1名が出席予定

5．閉会